

金澤北ロータリークラブ



「泉 鏡花」 白鳥路

得能節朗 (とくのう せつろう) 1930～

1978年(昭和53年)金沢美術工芸大学教授、1995年(平成7年)同大学名誉教授、1987年(昭和62年)北国文化賞、1995年(平成7年)石川テレビ賞、同年石川県文化功労賞、同年金沢市文化賞、同年第27回日展内閣総理大臣賞受賞、日展評議員、北陸日彫会会長、石川県美術文化協会副会長、日展審査員6回、金沢市在住。



「石川県立音楽堂 の開館について」

(財)石川県音楽文化振興事業団
常務理事

山腰 茂樹氏

私の仕事は現在音楽文化振興事業団の仕事ですが、長らく県庁に居ました。初代文化振興課長として、この音楽堂建設の基本構想から携わり、その後3年間衛生総務課長をやって居りました。その間に音楽堂の基本設計・実施設計が出来て建設に入ったと言うことで完成の時に「お前もう暫く責任を持て」と知事からいわれ現職に就きました。

音楽堂の話の前に オタマジャクシを使う洋楽は、石川県に一体何時入って来たのか調べました。幾つかの本に明治17年に二人の人が東京へ派遣されて、唱歌だと思いますが教育の仕方を習い、翌18年に石川県へ戻ってこの二人が始めて唱歌教育というものを始めた、という記録をみつけたが二人の名前はずっと不明でようやく私が発掘する事が出来ました。林しげる(男)・行山すが(女)の二人です。林さんは帰って二年後ぐらいで結核で亡くなったようで行山さんは、すがの・すが子・すがと色々な記載があります。

こうして石川県で洋楽・唱歌が普及し始めて116年で現在にまでなりました。ヨーロッパと比べると僅か五分の一か六分の一の期間です。行山すがさんを顕彰したいと調査を続けているので、もし消息をご存知の方が有りましたら教えて頂きたく事あることをお願いしています。文化振興課長のところにコンサートホールと邦楽ホールとを作りたい、特に邦楽伝統芸能ホールは浅野川界隈に作りたい、と当時中西知事のご希望でした。私も交渉にはいった経過もあります。コンサートホールの背景には昭和63年に本格的プロの室内楽オーケストラ、オーケストラ・アンサンブル金沢が誕生しました。現在14年目になりますが、フランチャイズといえますかレジデンスといえますか、そういうホールが欲しいという声はずっと有りました。それぞれ専用ホールの願望が交通整理されないままに平成6、7、8年と建設場所について話題になっていました。私供としては第一候補 付属小中学の跡地、第二候補 尾山台高跡地の考えもありましたが城跡の問題も併行していて中西知事と山出市長との間で、お城は県で付属は市でと内々の話があったともいわれ平成7年に自民党の方々の提案として、厚生年金会館向かいではとの話、一方、国鉄清算事業団から駅前案が浮上しました。そうした中で邦楽・洋楽両ホールをまとめて作ったらどうか全

国でも例が無いゾ、といったあたりで議会側と知事の合意が成ったという経過で、水と油を足して2で割ったような考え方ですが結果的に非常に前向きで新しい考え方だったと、実際運営を始めてみて思います。洋と邦の融合がいろんな形で実験出来るということが今までにない新しい世界が広がる分野だと思います。谷本知事は加賀・能登からの交通を含め多くの人の利便を考えて判断されたといわれています。

平成10年12月着工、2年8カ月で9月12日オープンとなりました。総事業費・用地費を除いて200億円、国から約半額が見込まれ県の起債についても国の助成があるということで有利に進められた。用地費は48億円、その内金沢市の土地が2000 m²くらいあり将来県有地と交換の予定になっています。コンサートホールは1,560席、小型のオーケストラの場合1,300席位が非常に良いといわれていますが、岩城氏の意見も加えて1,560席に落ち着いた。客席は三層で高さ20m パイプオルガンはドイツベルリンのカールシュッケの製品で3億円、パイプの数は5,143本あり69色の音が出せます。又演奏者が居ない時でも自動演奏装置で演奏出来ます。ホールの型は厚生年金会館はアリーナ型というのに対し、音楽堂はシューボックス型といわれる。残響は空室2.2秒、満室2.0秒に設計されています。

邦楽ホールは、加賀藩が好んだ格調高い朱と群青で色調され客席は横長で天井は船底天井、棧敷席が両側上階にしつらえてあります。本格的な花道にスッポンも有り、舞台には七間の回り舞台があり12のセリがついている。コンサートホール・邦楽ホール共、地元の特徴として漆を多用している。楽屋は、洋楽・邦楽相互利用が出来る。交流ホールは、多目的に利用できる。階段や舞台が電動で上下出来、又ダンスホールとしても使える。プロムナード・コンコースは全長120m総合案内所・チケットボックスのほか洋楽器や和楽器などの展示コーナーも設けてあり、9時から22時まで自由解放となっている。

200億円の施設で年間7億円(1日200万円)の維持費がかかる。

開館記念事業は9月12日開館から来年3月まで100の公演を予定している。これも全国のホールでは前例がない。

最初に石川県へ始めて洋楽を導入した方の話をしましたが、それ以外にも別の洋楽ジャンルで初導入された方々について、今後調査を進めて行きたいのでご協力お願いします。

オーケストラ・アンサンブル金沢のみならず、金沢が全国に誇る邦楽伝統芸能の伝承の為にも一層お役に立ちたいと思って居ります。

解説・金沢城

下郷 稔

- ☆一向宗徒が加賀の守護・富樫政親を攻め滅ぼし、一向宗徒に依る政治体制＝「加賀は百姓の持ちたる国」が確立したのは長享2年（1488）。
- ☆天文15年（1546）には、その道場と政庁を兼ねた「金澤御堂」等と呼ばれた御坊が、後の金沢城内に造られる。
- ☆織田信長の命によって柴田勝家と、その甥・佐久間盛政が、天正8年（1580）に一向宗徒を攻略し「百姓の持ちたる国」も終わりを告げる。盛政は金澤御堂に入り「尾山城」と呼び改める。
- ☆天正10年6月2日、信長は京都・本能寺で明知光秀の謀反により自害する。その翌年、天下人の跡目をねらって勝家と羽柴（後の豊臣）秀吉が激しい戦いを起こす。勝家は北莊城で4月24日、自害。盛政も秀吉軍によって捕らえられ殺される。
- ☆前田利家は秀吉から尾山城と加賀の石川郡と河北郡の二郡を与えられ、天正11年（1583）4月、尾山城に入る。その後、金沢城と改名。
- ☆天正15年（1587）には、相当の規模を持つ「天守」が出来ていたと、最近考えられるようになった。さらに、文禄元年（1592）には、利家は利長に命じて金沢城の高石垣を築いている。
- ☆慶長7年（1602）10月晦日、落雷によって天守が燃える。その翌年正月、「三階の櫓」を築造し天守の代わりとした。
- ☆金沢城は何度も火災にあっている。その主なものは、次の通り。
 - ①慶長7年10月晦日。天守炎上
 - ②元和6年（1620）12月24日。本丸全焼。
 - ③寛永8年（1631）4月14日。「寛永の大火」城下1,000戸焼失。金沢城も殆どが燃える。

- ④宝暦9年（1759）4月10日。藩政時代の最大の火災。城下10,508戸焼失。城内も殆どが焼ける。
- ⑤文化5年（1808）正月15日。二の丸全焼。
- ⑥明治14年（1881）1月10日。陸軍の兵舎となっていた二の丸から出火。石川門と三十間長屋を残して、後は全て焼失。

- ☆明治44年、百間堀が埋め立てられる。
- ☆昭和25年、（1950）、金沢大学が置かれる。
- ☆平成7年、（1995）、金沢大学、角間へ移転完了。
- 【金沢城城郭の特徴】
- ☆天守
 - ・天守は天正15年（1587）には築造されていた。天守には「くりん」があったことが南部藩家老・北信愛の来城したときの覚書によって、わかっている。だが、その構造を示す文書は今のところ見つからない。
 - ・慶長7年の落雷で焼失した天守の代わりに建てた「三階の櫓」は、「宝暦の大火」で燃えた。その後は再建せず、金沢城は天守を持たない城であった。
 - ・本丸は「寛永の大火」で焼失してからは造らず、二の丸が藩主の起居する場であり、政務を執る場でもあった。
- ☆石川門
 - ・門が石川郡に向かっているから石川門との名が付いた。河北門も同様。
 - ・門の左右に造られている隅櫓のうち、向かって左は二階建。角度が94度と86度のやや菱形となっている。
 - ・一階の窓は正面だけでなく左右の敵も討つことが出来る出窓となっている。また、石落としの仕掛けもある。隅櫓で唐破風の屋根を載せた出窓を持つ城は珍しい。隅櫓を一層美しくしている。

2002～2003年度より石川第一分区はガバナー補佐の複数制が採用されることとなりました。

石川第一分区 ガバナー補佐 複数制

○グループ分け

Aグループ

金沢・金沢東・金沢南・河北・河北南・香林坊

6クラブ(432名)

Bグループ

金沢西・松任・みなと・金沢北・百万石・野々市・松任石川

7クラブ(391名)

○Aグループ 金沢東RC、Bグループ 金沢北RCより選出

○このグループ分けは、将来にわたって金沢地区8RCを分割するものでないことを全員で確認する。8RC臨時会長・幹事会の決定事項

○系統



以上の次第で当クラブよりガバナー補佐を選出することとなり、11/8 理事会に於て長谷川聖人会員をガバナー補佐として推薦することになりました。

ニコニコボックス

11月1日

- ゲスト 山腰茂樹氏
本日、お話をさせていただきます。
 - 小松東RC
いつもお世話になっています。茂樹君（いとこ）の卓話を聞けず早退すいません。
 - 合田君、卯野君、渡邊君
講師に、石川県立音楽堂の常務理事の山腰茂樹氏をお迎えして。
 - 乙村君
真新しい石川県立音楽堂の常務理事の山腰茂樹さんをお迎えして。
 - 魚住君
誕生祝と皆出席顕彰ありがとうございます。
 - 俵君
社会奉仕の精神を持って、犯罪者の更生保護に協力しているとして、金沢保護観察所長より感謝状をいただきました。
 - 越田君
三男の壮が京都外国語大学英米語学科に帰国子女入試にて合格しました。アメリカへの交換留学がきっかけとなり、ふくらんだ彼の大きな夢に向けての第一歩です。
- 合計 42,000円(累計 481,000円)

11月8日

- 合田君、渡邊君
講師に大場松魚先生をお迎えして。今回は5回目の講話となりますが、今回も宜しくお願ひ致します。
 - 卯野君
講話に大場松魚氏をお迎えして。又、此度、消防庁長官表彰を受賞致しましたので。
 - 乙村君
大場先生特別講話第5回目、いよいよ佳境に入ってきました。宜しくお願ひ致します。
 - 佃君
去る11月1～4日、県内の食品業界が総力を合わせて開催しました、国際食品見本市「ネクストフーズいしかわ2001」も成功裡に終了致しました。色々お世話になった皆様に感謝致します。
 - 高島君
卯野幹事の消防庁長官表彰受賞おめでとうでございます。
 - 高島君
私の長男（善将）が出ているチーム（大徳ベラダー）が、トヨタカップの全国大会に出る事になりました。
 - 五十里君
久しぶりです。
 - 的場君
誕生日の花束ありがとうございます。お蔭様で54才を無事迎えました。今後共宜しくお願ひ致します。
- 合計 34,000円(累計 515,000円)

“ロータリーの友” こんな記事が

十二月号 そして 十一月号	十月号	九月号	八月号	シリーズ 日本 の風景	◇表紙 (八月号より)	金沢北 中村 曜子 (中村三次夫人)	高原の 小さき画展 今朝の秋	金沢北 中村 曜子	木立より 湧きて幽かな 風涼し	◇ロータリー 俳壇
(石川県 金沢市)	岐阜県	北海道	山形県	沖縄県						

“本年度特別企画 十回シリーズ講話”

大場松魚先生 第1回 (7月12日) 「私の歩んだ道 開けゴマ」
第2回 (8月2日) 「絵日記 (図案日誌)」
第3回 (9月6日) 「蓬莱の棚について」
第4回 (10月4日) 「蓬莱の棚 その2」
第5回 (11月8日) 「日本伝統工芸展のこと」
第6回 (12月6日)

下郷 稔先生 第1回 (7月26日) 「加賀藩初代藩主・前田利家」
第2回 (8月23日) 「利家の金沢城への入城」
第3回 (10月18日) 「幻の金沢城天守」
第4回 (11月22日) 「まつ江戸下向と珠姫の興入れ」
第5回 (12月13日) 「兼六園 築庭のはじまり」

11月予定

1日(木) 例会 講話 県立音楽堂常務理事 山腰茂樹氏
8日(木) 例会・理事会 第5回講話 大場松魚氏
15日(木) 例会 森川英世氏・石川テレビ放送解説室長
22日(木) 例会 第4回講話 下郷 稔氏
29日(木) 例会 講話 高柳友子先生(2回目)
日本介助犬アカデミー専務理事(内科医師)

12月予定

6日(木) 例会 第6回講話 大場松魚氏
13日(木) 理事会……………(11:30~)
年次総会……………(12:30~)
次年度理事会………(13:30~)
第5回講話 下郷 稔氏
20日(木) 年忘れ夜間例会 ホテル日航金沢にて

第1378回例会

◆11月1日(木) はれ 12:30~13:30 松魚亭

- 講話
石川県立音楽堂常務理事 山腰茂樹氏
「石川県立音楽堂の開館について」
- 出欠
出席 43名 欠席 30名 出席率 58.90%
ビジター 12名
- 来訪者(敬称略)
小松東RC 山腰 茂
金沢RC 横山英勝 村本道広 佐藤 満
金沢東RC 厚見益樹
金沢南RC 荒井源空 星山隆二 鏑 一郎
香林坊RC 水内建之 村田秀彦 近藤勝則
みたとRC 北尾強也
- 皆出席顕彰(敬称略)
23カ年 魚住安彦 22カ年 鈴木 透
- お誕生日祝(敬称略)
7日 魚住安彦 7日 的場晴次
8日 田中廣明 19日 横井伸一
21日 上田忠信 21日 桜田鉄次
30日 川島正夫
- ご結婚記念日祝(敬称略)
3日 高島菊丸 3日 五十里英弘
3日 濱井弘利 3日 勝田浩之
10日 河口 進 12日 木村丹二
12日 汐井俊彦 21日 長原俊之
23日 合田昌英 23日 辻 利陽

第1379回例会

◆11月8日(木) はれ 12:30~13:30 松魚亭

- 講話
人間国宝 大場松魚氏
「日本伝統工芸展のこと」

- 出欠
出席 41名 欠席 32名 出席率 56.16%
ビジター 32名
- 来訪者(敬称略)
金沢RC 大島廣靖 上山武夫
金沢東RC 不破幸夫 田口建一
金沢西RC 作田昭七 清水良治
金沢南RC 山下文雄 坂東久雄
みたとRC 打田栄一 堀川善昭 中谷宗統
百万石RC 市島明子
- 幹事報告
○2002~2003年度ガバナー補佐決定
金沢北RC 長谷川壘人君

理 事 会 報 告

11月8日(木) 出席者 15名

- ◆審議事項
 - ①2002~2003年度ガバナー補佐の件
第26代会長 長谷川壘人君に決定
 - ②年忘れ会の件
平成13年12月20日(木) 18:30~
ホテル日航金沢にて
 - ③金沢8RC新年合同例会の件
2002年1月8日(火) 12:30~ ホテル日航金沢にて
※当クラブがホストで開催
- ◆各委員会報告
 - 友好委員会
11月29日(木)~30日(金) 京都友好訪問
36名の参加者
- ◆その他
 - 指名委員会の設置

会 長: 合田 昌英 S A A : 内山 正義
会長エレクト: 佃 一成 会 計: 畠 善昭
副 会 長: 米澤 修一 広報委員長: 乙村 舜吉
幹 事: 卯野 正博 会 員 数: 75名
副 幹 事: 玉田 善明 クラブ設立: 昭和48年10月3日

例会日: 木曜日 12:30~13:30
例会場: 松魚亭 金沢市東山1-38-30
TEL<076>252-2271 FAX252-2273
事務局: 金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内
TEL<076>222-2525 FAX224-2882



この会報は再生紙を利用しています。